

# プラム・プルーン特報 No.13

令和5年9月1日  
JA中野市営農センター  
JA中野市プラム部会

☆ 生育状況は、現状平年並みの状況です。

今後、秋姫の収穫期を迎えますが、地色の抜け具合・食味を確認し、収穫をすすめて下さい。

☆ 本年も、秋姫などの品種で「黒斑病」や「かいよう病」の発生が園地によって多い状況です。

収穫後のボルドー散布を実施し、菌密度の抑制に努めて下さい。

ボルドー散布前に徒長枝を整理し、薬剤がかかりやすい状態での散布を実施して下さい。

●スモモヒメシクイ フェロモントラップ調査について（8/23時点） 調査：北信農業農村支援センター

調査日	一本木		大俣		倭	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4
7月19日	38	18	1	6	27	47
7月26日	30	8	3	5	19	20
8月2日	65	53	5	21	59	104
8月9日	49	34	0	23	70	191
8月16日	27	67	0	15	123	25
8月23日	10	20	0	9	30	16

## 1. プラム、プルーン **収穫後** の散布

●隣接園（特に、今後収穫期を迎える作物）に飛散しないよう十分注意する。

・散布時期：	9月上旬～（収穫後）	
・散布薬剤：	水	100ℓ当り
	アピオンE（展着剤）	100ml
	ICボルドー412	3.3kg
・対象病害虫：	黒斑病、かいよう病	
・散布量：	10a当り SS400ℓ	
・注意事項：	①「汚れ注意」：周辺の作物へ飛散しないようにする ②黒斑病、かいよう病多発園は、ボルドー散布を14日以内の間隔で、2～3回実施する。	

●散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行ない、薬液が残らないようにする。

## 2. 収穫後の施肥・・・天然ボカシ肥 4～5袋（10a当たり）

問合せ先：園芸課 23-3933